

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

153

卓越性を評価

今年5月、英国の大学の研究を評価する「研究卓越性枠組み（REF）」の結果が公表された。7年ぶりとなる今回は、157大学の1878学部が提出した研究成果のリストに対して、それぞれの卓越性を専門家パネルが5段階で評価した。各大学はすぐに結果をウェブサイトで報告し、一部のニュースサイトはこれをもとに独自のランキングを作成している。

REFの目的は以下のように説明されている。①大学に対する研

究資金の選択的配分の参考にする。②研究への公的投資の説明責任を果たす。③研究のベ

ンチマーク情報と評判の尺度を提供する。資金の選択的配分を含め収入などを評価する。

産学連携促進

大学の1878学部が提出した研究成果のリストに対して、それぞれ

の公的投資の説明責任を果たす。③研究のベ

ンチマーク情報と評判の尺度を提供する。資金の選択的配分を含め収入などを評価する。

の公的投資の説明責任を果たす。③研究のベ

ンチマーク情報と評判の尺度を提供する。資金の選択的配分を含め収入などを評価する。

の公的投資の説明責任を果たす。③研究のベ

大学研究、インパクト可視化



科学技術振興機構（JST）
研究開発戦略センターフェロー 住田朋久

東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程単位
取得退学（科学史）。日本科学未来館、東京大学大
学総合教育研究センター特任研究員、丸善出版、東
京大学出版会などを経て、2020年より現職。

「成果（アウトプット）」、「インパクト」、「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

「成果（アウトプット）」の特徴となっているのが、学術を越えて広く社会に対してもたらす「環境」の三つである。「成果」では、研究者「インパクト」の評価で成果を評価する。18万を越える「成果」のうち、約82%が論文、約15%が書籍である。三つ目の「環境」では、博士号授与数や研究費収入などを評価する。

REF 2021の要項で例示されたインパクトの領域

- 人々の健康と幸せ (wellbeing)、動物への配慮
- 創造性・文化・社会
- 社会福祉
- 商業・経済
- 公共の政策・法律・サービス
- 生産
- 実務家への専門的サービスや倫理的実践の提供
- 環境
- 理解・学習・参加

REF 2021 “Panel criteria and working methods” (2019) Annex A より一部意訳 ※REF: Research Excellence Framework、研究卓越性枠組み <https://ref.ac.uk/>

判などの定性的なものも挙げられている。日本でも、科学技術・イノベーション基本法に、あらゆる分野の知見を用いて社会課題に対応することが盛り込まれている。日本の国立大学法人評価でも「学術的意義」に加え、「社会的意義」についても記述されている。英国の例も参照しているが、研究のインパクトを可視化することがますます重要になるだろう。

研究成果のインパクトが具体的に詳述されたケーススタディ（6871件）は、22日に公開された。（金曜日掲載）